

2019年（令和元年）9月

東京総合写真専門学校、創立60周年と

バウハウス100周年を記念した写真展

「バウハウスへの眼差し EXPERIMENTS」を開催

東京総合写真専門学校(学校法人写真学園/理事長・校長：伊奈英次/神奈川県横浜市港北区)は、2019年10月21日(月)から11月22日(金)、学校創立60周年および、写真・デザインを含む美術・建築分野において総合教育を行なったドイツの造形学校「バウハウス」開校100周年を記念した写真展「バウハウスへの眼差し EXPERIMENTS」を開催します。東京総合写真専門学校は、創立以来、写真技術だけに留まらない“総合写真教育”を実践しており、1958年の学校発足当時、写真教育の「バウハウス」として注目を集めました。本展は二校に通底する理念を、写真を通して表現する写真展です。

展示は本展主催者である東京総合写真専門学校の校長・伊奈英次によるバウハウスの記録写真展「バウハウスを訪ねて」と、東京総合写真専門学校を卒業した写真家7名による新たな挑戦の場「7 EXPERIMENTS」の2部で構成されています。

1F ギャラリーで開催される「バウハウスを訪ねて」では、伊奈によるバウハウスの歴史的な建築を正面から捉えた貴重な写真群からバウハウスの事跡を辿ります。

2019年に新設された4F新ギャラリーで開催される「7 EXPERIMENTS」では、伊奈英次(Eiji Ina)、青木大祐(Daiyuu Aoki)、倉谷拓朴(Takuboku Kuratani)、相模智之(Tomoyuki Sagami)、進藤環(Tamaki Shindo)、竹下修平(Shuhei Takeshita)、原美樹子(Mikiko Hara)の7名による実験的な作品が展示されます。

本展開催期間中の11月3日には、本展のキュレーションを担当した深川雅文(キュレーター/クリティック)に、調文明(写真史研究/写真批評)、長谷川新(インディペンデント・キュレーター)の2名を加えたトークショウ「Bauhaus Talk #01 バウハウスを超えて Beyond Bauhaus」を開催。20世紀モダニズムの金字塔の一つであるバウハウス振り返るとともにその現代的意義と課題を考えます。

●本展に関するお問い合わせ

東京総合写真専門学校 担当：柴田麻希

電話：045-563-3077（月～土9：00～17：00/日・祝休校）

メール：shibata16@tcp.ac.jp

神奈川県横浜市港北区箕輪町2-2-32

<https://tcp.ac.jp>

[展覧会タイトル]

「バウハウスへの眼差し EXPERIMENTS」

[場所]

東京総合写真専門学校

ギャラリー（1F+4F 新ギャラリー）

神奈川県横浜市港北区箕輪町 2-2-32

[日時]

10月21日（月）～11月22日（金）

9：00～20：00（月～金）

9：00～17：00（土）

日・祝日休館（11月3日を除く）

[主催] 東京総合写真専門学校

[プロデュース] 伊奈英次

[ディレクション] 鶴澤淑人

[キュレーション] 深川雅文

[協力] 株式会社 LIXIL、株式会社 堀内カラー

●トークショウ

Bauhaus Talk #01 バウハウスを超えて -Beyond Bauhaus

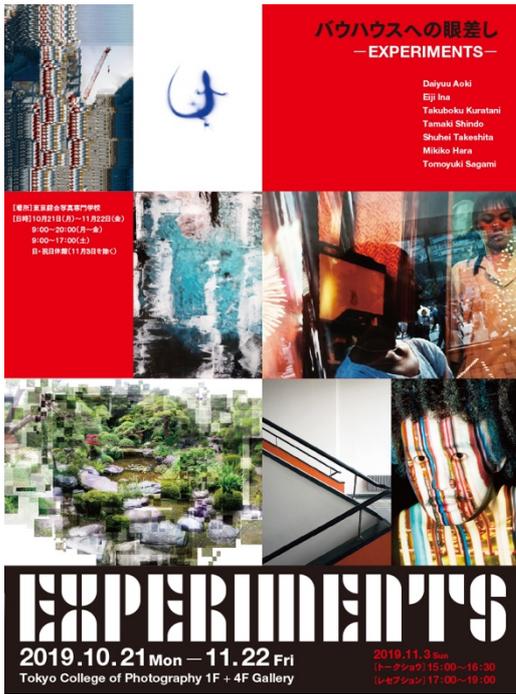
[日時] 11月3日（日・祝）15：00～16：30（予約不要・入場無料）

[場所] 東京総合写真専門学校・1F ギャラリー

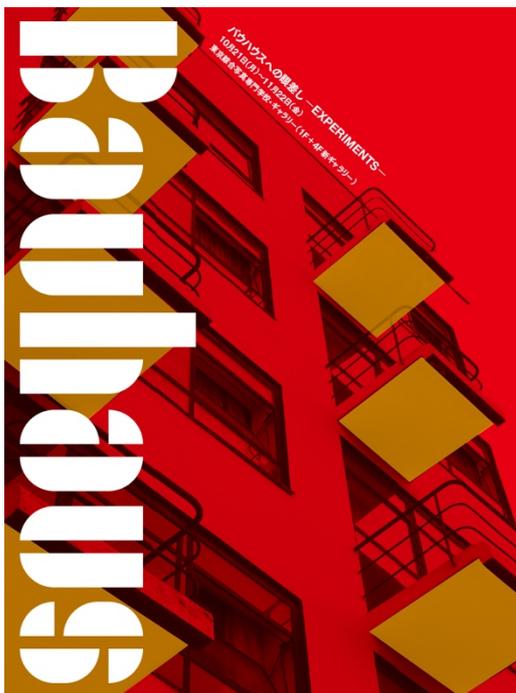
[スピーカー]

- ・深川雅文（キュレーター／クリティック）
- ・調文明（写真史研究／写真批評）
- ・長谷川新（インディペンデント・キュレーター）

*トークショウ終了後、17：00より本展レセプションを開催（予定）



展覧会ビジュアル (7 EXPERIMENTS)



展覧会ビジュアル (バウハウスを訪ねて)

バウハウスへの眼差し — EXPERIMENTS —

【主催】東京総合写真専門学校
【プロデュース】伊奈英次
【ディレクション】鶴澤淑人
【キュレーション】深川雅文
【協力】株式会社LIXIL
株式会社 堀内カラ

「総合」と「実験」のビジョン

深川雅文 (キュレーター／クリティック)

なぜ、東京総合写真専門学校からは、かくも多くの日本の写真賞の受賞者が誕生したのか？ 答えの鍵は、この学校の写真教育のビジョンにあったと言える。

1958年9月にこの学校を創設した重森弘淹は、この学校を写真教育の「バウハウス」と形容している。1919年に建築家、ヴァルター・グロピウスが開校したドイツの芸術学校「バウハウス」は、諸芸術を「建築」の下に総合するというビジョンを掲げて造形教育に革命を起こし、後の美術教育に計り知れない影響を与えた。戦後の日本の美術教育も例外ではない。

「東京総合写真専門学校」は、写真教育の場にその精神を取り入れた最初の学校であった。校名に入れられた「総合」性という視点から、写真家だけでなく様々なジャンルの批評家、理論家を招き、写真だけでなくアートやデザイン、心理学や自然科学なども含んだカリキュラムは、技術中心の写真教育に革新をもたらした。充足当時、日本の「バウハウス」として注目を集めた。アメリカのニュー・バウハウスで写真教育を受けた写真家、石元泰博の教授陣への招聘も教育方針

に少なからぬ影響を与えた。バウハウスの重要なマイスターの一人で、アメリカに亡命してニュー・バウハウスを創設したモホイ＝ナジの名を冠した賞を在学時に受賞した石元は、バウハウスの教育理念を本校に伝えた。さらに、気鋭の写真評論家でもあった重森ならではの、自らの作品に対する「批評性」を写真家に問う姿勢と一緒に独自の教育が打ち立てられ、ここに集った学生たちから日本の写真表現を担う写真家達が数多く巣立っていったのである。

バウハウスは、建築やデザインに留まらず、写真の革新運動の拠点の一つでもあった。1923年にモホイ＝ナジが着任して以降、バウハウスには写真への熱狂が生まれ、教師と学生の両方を巻き込んで、既存概念を打ち破る斬新な写真の実験が繰り返された。実験精神こそは、バウハウスの写真の推進力であった。その動向は戦前の日本でも紹介され、当時の先進的な写真家に注目された。

東京総合写真専門学校は、2019年、バウハウス開

校100周年の好機に、「バウハウスへの眼差し」と名付けた本校出身の写真家7人による展覧会を開催する。その眼差しは、ヴァイマル、デッサウのバウハウスの歴史的建造物を捉えた記録とバウハウスで繰り返された写真の精神に連ならんとする実験的作品の二つのパートからなる。一階ギャラリーでは、同校校長の伊奈英次が、1999年にヴァイマル、デッサウを訪れて、バウハウスの歴史的な建築を正面から捉えた貴重な写真群によりバウハウスの事跡を辿る。四階ギャラリーでは、伊奈を含めた本校出身の下記の7人の作家による作品を紹介する。

青木大祐、伊奈英次、倉谷拓朴、相模智之、進藤環、竹下修平、原美樹子

総合と実験というバウハウスの精神を写真教育に取り入れたユニークな写真学校、東京総合写真専門学校設立60周年に際して、バウハウス開校100周年に連帯する写真展である。

バウハウスを訪ねて

本展主催者である東京総合写真専門学校の校長・伊奈英次によるバウハウスの記録写真展。バウハウスの歴史的な建築を正面から捉えた貴重な写真群からバウハウスの事跡を辿る。



Photo: Eiji Ina

【トークショー】 Bauhaus Talk #01

バウハウスを超えて Beyond Bauhaus

日時 11月3日(日・祝)15:00~16:30(予約不要・入場無料)
場所 東京総合写真専門学校・1Fギャラリー

深川雅文(キュレーター／クリティック)
調文明(写真史研究／写真批評)
長谷川新(インディペンデント・キュレーター)

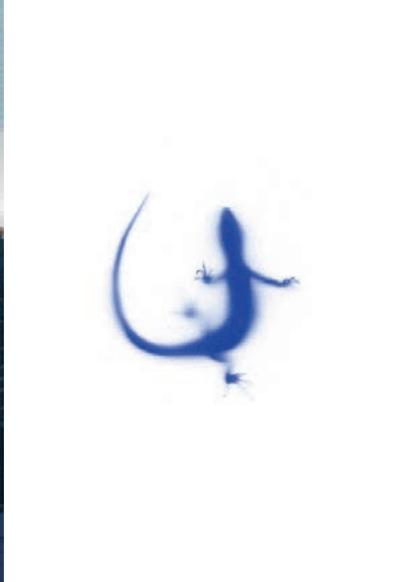
2019.11.3 Sun

20世紀モダニズムの金字塔の一つ、バウハウスの事象をたんに歴史的に重要な参照点として振り返るだけでなく、例えば、高度なデジタル・ネットワーク化社会という私たちが直面している社会的現実などに照らし合わせながら、創設100周年の好機に、その現代的意義と課題を考えたいと思います。バウハウスの創設者、ヴァルター・グロピウスは、「アー

トとテクノロジーその新たな統一」という理念を掲げて、芸術のあり方に根本的な変革の道を切り開きました。このビジョンが、現在のテクノロジー社会においても機能するのか、あるいはそれをいかにして展開することが可能なのか、その限界点はあるのかといった根本的な問いを巡って今日的な視点から迫っていきます。

バウハウスへの眼差し — EXPERIMENTS —

Daiyuu Aoki
Eiji Ina
Takuboku Kuratani
Tamaki Shindo
Shuhei Takeshita
Mikiko Hara
Tomoyuki Sagami



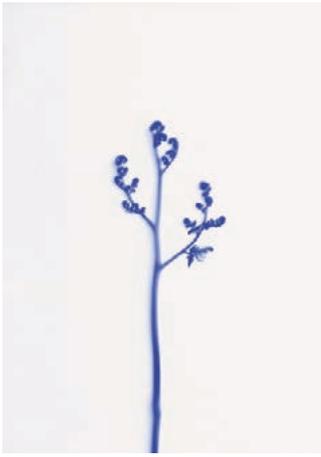
[場所] 東京総合写真専門学校
[日時] 10月21日(月)～11月22日(金)
9:00～20:00(月～金)
9:00～17:00(土)
日・祝日休館(11月3日を除く)



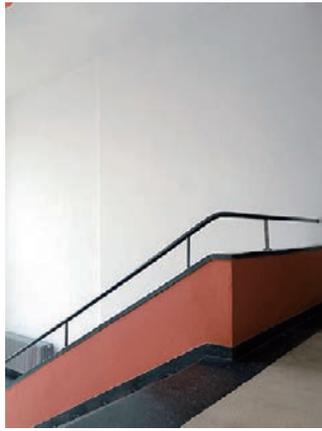
EXPERIMENTS

2019.10.21 Mon — 11.22 Fri
Tokyo College of Photography 1F + 4F Gallery

2019.11.3 Sun
[トークショー] 15:00～16:30
[レセプション] 17:00～19:00



①



②



③

[写真の未来へ]

写真の歴史はイメージメイキングにおける実験の歴史でもある。デジタルテクノロジーが蔓延しつつある現在、写真は新たな実験の戦場とならなければならない。

「7 EXPERIMENTS」は、東京総合写真専門学校で学んだ7人による新たな挑戦の場である。この姿勢のみが時代を切り拓く。開校来、バウハウスには常に写真の実験のマグマが蠢いていた。写真発明180年なおかつバウハウス開校100年の記念年に開催する本展は、写真の未来に光を投げかけようとするひとつの試みなのである。(深川雅文)

7 EXPERIMENTS



④



⑤



⑥



⑦

① 倉谷拓朴 Takuboku Kuratani

2003年卒
「shine」
2016年～2017年

② 相模智之 Tomoyuki Sagami

2010年卒
「Vertikales Foto Siedlung Dessau-Törten」
2018年

③ 青木大祐 Daiyuu Aoki

2018年卒
「Projection - Reprojection」
2019年

④ 竹下修平 Shuhei Takeshita

2009年卒
「浄土作庭考」
2015年～2019年

⑤ 原美樹子 Mikiko Hara

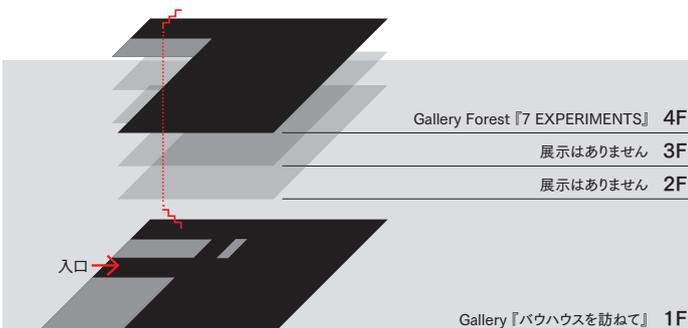
1996年卒
「Scatter 1995/2019」
1995年～2019年

⑥ 伊奈英次 Eiji Ina

1984年卒
「残滓の結晶〈Crystal of debris〉」
2019年

⑦ 進藤環 Tamaki Shindo

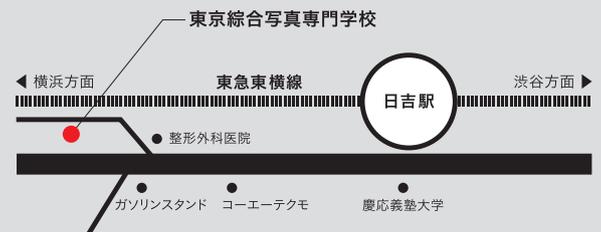
2006年卒
「condition」
2019年



東京総合写真専門学校

〒223-0051 神奈川県横浜市港北区箕輪町2-2-32
TEL:045-563-3077 FAX:045-563-2050

<https://tcp.ac.jp>



[東急東横線日吉駅から]

東急東横線日吉駅 / 市営地下鉄グリーンライン日吉駅 / 東急目黒線日吉駅下車徒歩7分
日吉駅: 渋谷駅より急行で20分 / 横浜駅より急行で15分 / 目黒駅より急行で17分